

# 「本格的IoT時代をにらんだ電波分野の研究者ネットワーク」第7回意見交換会

## 〈香川県における情報化の取組み〉

四国総合通信局(局長:野水 学)は、令和2年12月4日(金)、香川県高松市の情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)にて「本格的IoT時代をにらんだ電波分野の研究者ネットワーク」の第7回目の意見交換会を開催しました。本ネットワークは、四国管内で電波分野の研究に取り組む研究者の交流及び意見交換の場を設けるとともに、電波に関する技術情報や利活用・実証実験の事例も共有することにより、研究者をサポートすることを目的に立ち上げたもので、管内の4大学、5高等専門学校と管外の2大学から19名の研究者が参加しています。

第7回目の意見交換のテーマは、「香川県における情報化の取組み」とし、合計33名(本ネットワーク参加研究者15名(うちリモート参加者11名)、発表者4名、傍聴者等14名)が出席して、活発な意見交換と情報共有が行われました。会議の概要は次のとおりです。

### 【研究者による研究開発成果の紹介1】

NICTの志賀プランニングマネージャーから、「無線双方向時刻同期(ワイワイ)による時空間同期」というテーマで、複数の無線機を用いて、安価かつ簡便に高精度な時刻同期と距離計測を実現する技術の紹介がありました。

### 【研究者による研究開発成果の紹介2】

香川大学創造工学部の三木教授から、高セキュリティで災害時にも安定した通信が可能なプライベートLTEの実証実験結果が紹介されました。香川大学キャンパス内に基地局及びサーバを設置して実証フィールドを構築し、複数基地局エリア間のハンドオーバー特性、スループットカバレッジ等について有用な評価結果が得られた旨の報告がありました。

### 【研究者による研究開発成果の紹介3】

名古屋工業大学大学院の王教授から、「微弱無線周波数帯を活用した体内深部まで高速・高信頼で通信可能な医用インプラント通信機の研究開発」というテーマで、体内センシング情報等の伝送を体内20cm以上の深さで、20Mbps以上の速度により実現する通信モジュールの研究開発に関する紹介がありました。併せて筋電信号を低遅延で無線伝送し、意のままに手指の動作を可能とする義手開発の紹介もなされました。

### 【香川県の情報化の取組み紹介】

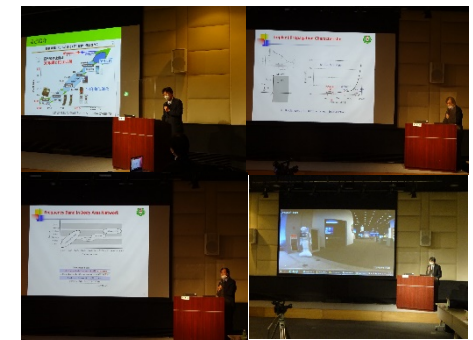
香川県情報政策課の棟保主任から、情報通信関連産業の育成・誘致に向けた政策展開の拠点として開設された「Setouchi-i-Base」についての紹介が行われました。また、意見交換会終了後、「Setouchi-i-Base」の見学が行われました。

### 【四国総合通信局及びNICTからの情報提供】

令和3年度総務省予算要求資料等最新の施策の説明を行いました。



〈意見交換会の様子〉



〈研究開発成果等の紹介の様子〉

四国総合通信局では、産学官の共同研究や社会実装を見据え、民間企業を含めた地域課題解決に資する研究開発についての意見交換会を引き続き開催してまいります。

【お問い合わせ先】

無線通信部 電波利用企画課  
電話:089-936-5071